



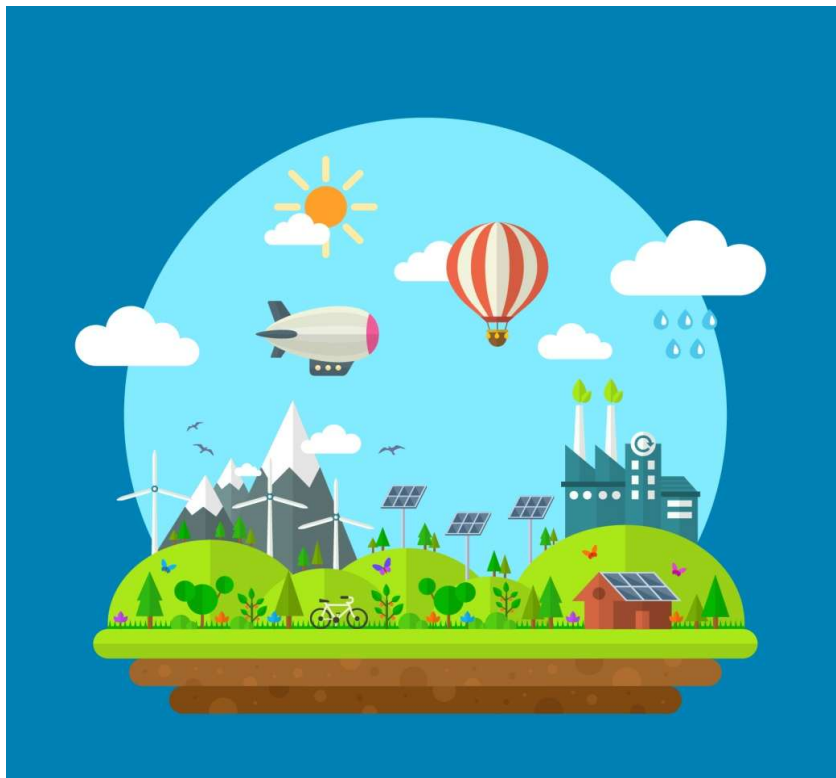
®環境省

エコアクション21

認証番号 0011201

# エコアクション21 2024年度 環境経営レポート

(活動期間：2023年10月1日～2024年9月30日)



協業組合 徳島印刷センター

発行日：2024年11月30日

## Ⅱ 環境経営レポート

環境経営方針・・・2

取組の対象組織・活動・・・3

実施体制図及び役割・責任・権限表・・・4

実績及び評価・・・5

2025 環境経営計画・・・8

2024 環境経営計画及び計画の取組結果・評価等・・・9

代表者による全体の評価と見直し・・・10

排出量推移・・・12

位置図・・・15

# 環境経営方針

## 基本理念

私たちは、情報関連産業の先進的企業群として、事業活動のすべてにわたり、納期・価格・品質において、お客様に満足頂けることを目指します。  
このため、効率化や品質管理の徹底を図るとともに、省エネルギー・省資源等の環境に配慮した対応を進め、コスト削減と併せて地球環境保全に貢献するなど、環境経営を推進し、これを継続的に改善します。

## 行動指針

1. 私たちは、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。  
このため、以下のことについて重点的に取り組みます。  
また、これらについて、環境経営目標を設定し、年度ごとの見直しを通じ継続的に改善します。
  - 1) 二酸化炭素排出量の削減（総エネルギー使用量の削減）
  - 2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
  - 3) 水使用量の削減
  - 4) 化学物質の使用量削減
  - 5) 環境負荷の低減に配慮した製品作り
  - 6) 地域社会の環境保全への貢献
2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の同意する要求事項を遵守します。
3. 顧客と従業員の満足度向上に努めます。
4. 環境経営方針を全ての従業員に周知します。

2021年10月1日

協業組合 徳島印刷センター  
代表理事 多田 哲也

## 1. 取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名：協業組合 徳島印刷センター  
代表理事：多田 哲也

(2) 所在地  
本 社：徳島県徳島市問屋町165番地  
東 店：徳島県徳島市問屋町156番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
環境管理責任者：プレス課 工場長  
担当者：総務課  
TEL：088-625-0135  
FAX：088-622-0734

(4) 事業内容：商業印刷物であるチラシ、パンフレット、ポスター、封筒、はがき、冊子等の企画、印刷及び製本

(5) 事業の規模

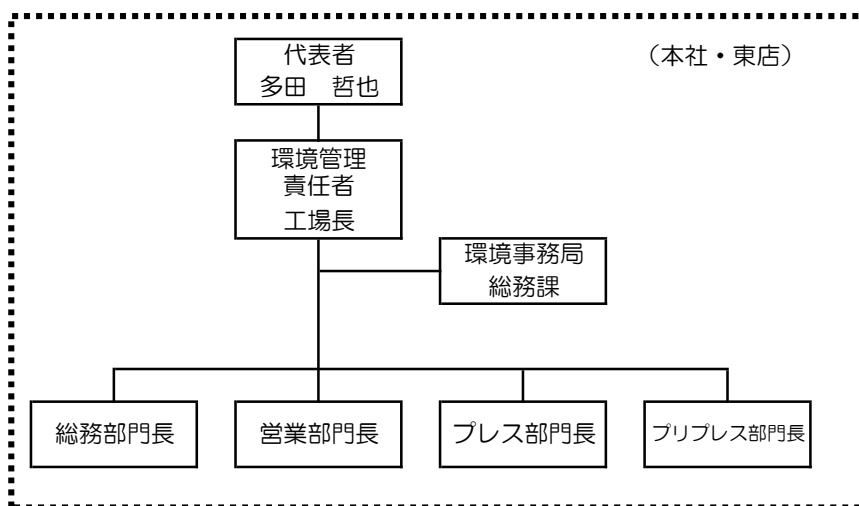
売上高：271百万円（2024年度：2023年10月～2024年9月）

	本 社	東 店
従 業 員 (人)	16	14
延べ床面積 (㎡)	632.54	362.63

## 2. 認証・登録の対象

全組織・全活動

# 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（理事長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標、環境経営計画を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標、環境経営計画を確認</li> <li>環境経営活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画原案の作成</li> <li>環境経営活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

【 環境経営目標（事務所、現場） 】  
2024年度～2026年度 環境経営目標

環境経営目標の項目		(基準値) 2022年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
二酸化炭素排出量(kg-CO2)の削減		排出量 88,463	基準比1%減 87,578	基準比2%減 86,694	基準比3%減 85,809
取組目標	電力使用量※ <sup>1</sup> (kWh) の削減	使用量 157,814	基準比0.5%減 157,025	基準比1%減 156,236	基準比1.5%減 155,447
	燃料使用量・ガソリン (ℓ) の削減	使用量 7,792	基準比0.5%減 7,753	基準比1%減 7,714	基準比1.5%減 7,675
廃棄物排出量※ <sup>2</sup> (t) の削減		排出量 3.7	3.7	3.7	3.7
取組目標	産業廃棄物・廃プラ (t) の削減	排出量 2	2	2	2
	産業廃棄物・廃珪砂 (t) の削減	排出量 1.7	1.7	1.7	1.7
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
水使用量 (m3) の削減※ <sup>6</sup>		使用量 305	305	305	305
環境負荷の低減に配慮した製品づくり 【NL規制※ <sup>3</sup> に適合したインキ (使用率※ <sup>4</sup> )】		98% 247kg/252kg (NLインキ重量 /使用インキ重量)	98%	98%	98%
【製品歩留りの向上/良品率の向上 (歩留り率) ※ <sup>5</sup> 】		67% (49.7t/73.3t)	68%	69%	70%
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年4回	年4回	年4回	年4回
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動 (清掃活動) の実施】		清掃活動実施 年18回	年18回	年18回	年18回

※1 二酸化炭素排出係数 0.446 (kg-CO2/ kWh) (2022年度 四国電力)

※2 廃プラ、廃アルカリ、紙くず、アルミのうち、廃棄物として排出される量  
(紙くず、アルミについて、有価物として引き取られる場合は除く。)

※3 NL規制：印刷インキに関する自主規制  
(人の健康・安全や環境への影響に配慮した有害性の少ない印刷インキの使用を求める)

※4 従来、種類とし、その数を目標値としていたが、取組状況をよりの確に示すため、  
使用率【NLインキ重量kg/使用インキ重量kg (%)】に変更。

※5 2022年度を基準とした目標。

【 実績及び評価 】

2024年度 (2023.10月~2024.9月)

環境経営目標の項目	目標値	実績値	目標達成率	判定	評価等	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)の削減	87,578	80,245	109%	○	概ね達成 ガソリンの 使用量が増	
取組目標 電力使用量 <sup>*1</sup> (kWh) の削減	157,025	138,080	113%	○		
燃料使用量・ガソリン (ℓ) の削減	7,753	8,044	96%	△		
廃棄物排出量 <sup>*2</sup> (t) の削減	3.7	4.8	77%	×	目標未達成	
取組目標	産業廃棄物・廃プラ (t) の削減	2	2.4	83%	×	目標未達成
	産業廃棄物・廃アルカリ (t) の削減	1.7	2.4	70%	×	目標未達成
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	発生量 44.9	100%	○	目標達成
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	発生量 2.6	100%	○	目標達成
水使用量 (m3) の削減	305	305	100%	○	目標達成	
環境負荷の低減に配慮した製品作り						
【NL 規制 <sup>*3</sup> に適合したインキの使用拡大】	98%	使用率：98% 206kg/210kg (NL 印重量/ 使用印重量)	100%	○	目標達成	
【製品歩留りの向上/良品率の向上】	歩留り率 68%	歩留り率：77% 48.9t/63.5t (製品重量/ 使用原材料重量)	113%	○		
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】	会議開催 年 4 回	会議開催 年 4 回	100%	○	開催できた	
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動 (清掃活動) の実施】	清掃活動実施 年 18 回	清掃活動実施 年 18 回	100%	○	開催できた	

【判定】 ○：100%以上（達成） △：95%以上（概ね達成） ×：95%未満（未達成）

【 評価に対するコメント 】

電力使用量	月別で目標達成できない月もあったが、四半期では目標達成できた。
ガソリン	コロナ感染症も 5 類扱いとなったことで、営業活動ができるようになり使用量が増加。
廃プラ	シールの仕事が増えたことや、東店 3 階の整理により廃棄物が多く出たので未達成。
廃アルカリ	担当者への聞き取りを行ったが、通常の使用方法だったので不備はないと判断。
水	目標は達成しているが、前年と比べると東店での使用量が増加しているため原因を調べる。

【 2020年～2023年度 実績の推移 】

環境経営目標の項目		2020年度 実績値	2021年度 実績値	2022年度 実績値	2023年度 実績値
二酸化炭素排出量(kg-CO2)の削減		103,557	83,818	82,939	82,099
取組 目標	電力使用量(kWh)の削減	157,607	157,384	157,814	157,154
	燃料使用量・ガソリン(ℓ)の削減	8,767	8,247	7,792	7,547
廃棄物排出量*1(t)の削減		3.65	3.3	3.7	4.55
取組 目標	産業廃棄物・廃プラ(t)の削減	2	1.6	2	2
	産業廃棄物・廃アルカリ(t)の削減	1.6	1.7	1.7	2.5
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率100% 50.54 t	リサイクル率100% 50.38 t	リサイクル率100% 47.08 t	リサイクル率100% 48.53 t
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率100% 2.41 t	リサイクル率100% 2.26 t	リサイクル率100% 2.53 t	リサイクル率100% 2.64 t
水使用量(m3)の削減		336	318	305	293
環境負荷の低減に配慮した製品作り					
【NL規制*2に適合したインキ(使用率*3)】		-	96%	98%	97%
変更前：NL規制*2に適合したインキ(種類)		(29)	-	-	-
【製品歩留りの向上/良品率の向上】*4		-	目標設定 検討実施	67%	74%
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年4回	会議開催 年4回	会議開催 年4回	会議開催 年4回
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動(清掃活動)の実施】		清掃活動実施 年18回	清掃活動実施 年18回	清掃活動実施 年18回	清掃活動実施 年18回

※1 廃プラ、廃アルカリ、紙くず、アルミのうち、廃棄物として排出される量

(紙くず、アルミについて、有価物として引き取られる場合は除く。)

※2 NL規制：印刷インキに関する自主規制

(人の健康・安全や環境への影響に配慮した有害性の少ない印刷インキの使用を求める)

※3 従来、種類とし、その数を目標値としていたが、取組状況をよりの確に示すため、

使用率【NLインキ重量kg/使用インキ重量kg(%)】に変更。

※4 2022年度からの新規目標。



# 【2025年度 環境経営計画】

(活動期間：2024年10月1日～2025年9月30日)

(事務所・工場)

	取組項目	責任者	日程	留意点
二酸化炭素排出の削減	<b>二酸化炭素排出量（基準比2%削減）</b>			
	<b>電力使用量（基準比1%削減）</b> 1. 夏季エアコン28℃（開始時期を極力遅らす） 2. 冬季エアコン20℃ 3. 年一回以上エアコン清掃 4. 効率的な仕事をする 5. 扇風機との併用 6. 使っていないコンセントを抜く	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	7～9月 12～3月 5月、11月 通年 7～9月 通年	節電意識をもつ 省エネ設備へ切替
	<b>燃料使用量（基準比1%削減）</b> 1. エコドライブの励行（10カ条） 2. 適正な車両整備（空気圧等） 3. 効率的な業務の徹底（段取り） 4. 四車両以上の車間距離の徹底 5. 適切なルート選定 6. ハイブリッド車および低燃費車の購入	営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長	通年 通年 通年 通年 通年 4月	走行計画を立てる
廃棄物排出量の削減	<b>リサイクル紙の推進（リサイクル率100%）</b> 1. 極力用紙からPDFに変更 2. プレビュー徹底 3. 情報公開文書は裏紙を使用する 4. メール&ファクスにて通達 5. ヤレ紙の削減	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	通年 通年 通年 通年 通年	印刷・製本での ヤレ紙の1%削減
	<b>アルミリサイクルの推進（リサイクル率100%）</b> 1. 適正な分別	プレス部門担当者	通年	極力アルミ版を使用する
	<b>産業廃棄物（廃プラ・廃アルカリ）の削減（維持管理）</b> 1. 材料発注時に正確な数値で拾い出しをする 2. 手戻りを極力抑える 3. 支障なき箇所に再利用を行う 4. 有価物の選別 5. 廃棄物の分別を徹底・再利用に努める	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	通年 通年 通年 通年 通年	廃棄物の分別を徹底し 再利用に努める
	<b>水使用量の削減</b> <b>水使用量（維持管理）</b> 1. 節水バルブを80%に調整する 2. 節水型便器の情報を収集する	環境管理責任者 環境管理責任者	通年 通年	節水を意識する
	<b>製品への環境配慮</b> NL規制に適合したインキの使用拡大 (1)NL規制に適合したインキの使用率の把握 (2)NL規制に適合したインキの使用	プレス部門担当者 プレス部門担当者	3月、6月、9月、12月 通年	情報収集に努める
	製品歩留りの向上/良品率の向上 1.歩留まり率の把握 2.歩留まり率の向上 (1)ミス年間5件以下 (2)予備紙を10枚減らす	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	3月、6月、9月、12月 通年 通年 通年	無駄を省く
	<b>化学物質使用量の把握</b> 1. MSDSの把握 2. IPA5%チェック 3. 年4回の会議	プレス部門 プレス部門 プレス部門長	通年 通年 2月、5月、8月、11月	化学物質使用量の削減
	<b>会社周辺の清掃及び社会貢献活動</b> 1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃 年12回 2. まちピカ事業 徳島市年2回 3. 東町内会清掃 年4回 合計年18回	環境管理責任者 環境管理責任者 環境管理責任者	毎月 6月、12月 3月、6月、9月、12月	全員参加

# 【2024年度 環境経営計画及び計画の取組結果・評価等】

(活動期間：2023年10月1日～2024年9月30日)

(事務所・工場)

	取組項目	取組結果等			取組結果の評価・今後の取組等
		責任者	日程	実施状況	
二酸化炭素排出の削減	<b>二酸化炭素排出量（基準比1%削減）</b>				
	<b>電力使用量（基準比0.5%削減）</b>				
	1. 夏季エアコン26℃（開始時期を極力遅らす）	各部門長	7～9月	○	取組項目が実施できた。 生産性を向上することで電力使用量の削減を図る。 省エネ設備への切替。
	2. 冬季エアコン20℃	各部門長	12～3月	○	
	3. 年一回以上エアコン清掃	各部門長	5月、11月	○	
	4. 効率的な仕事をする	各部門長	通年	○	
	5. 扇風機との併用	各部門長	7～9月	○	
	6. 使っていないコンセントを抜く	各部門長	通年	○	
	7. エアコンの購入（古いエアコンの更新/東店）	環境管理責任者	10月・8月	○	
	8. 照明器具取替（蛍光灯からLED照明への切替）	環境管理責任者	1月	○	
	<b>燃料使用量（基準比0.5%削減）</b>				
	1. エコドライブの励行（10カ条）	営業部門長	通年	○	効率的なルート選定を心掛けた。 コロナ感染症が5類扱いとなったこともあり、 営業活動ができるようになったことで使用量が増え 目標達成ができなかった。 次年度も低燃費車の購入検討を続ける。
2. 適正な車両整備（空気圧等）	営業部門長	通年	○		
3. 効率的な業務の徹底（段取り）	営業部門長	通年	○		
4. 車両以上の車両距離の徹底	営業部門長	通年	○		
5. 適切なルート選定	営業部門長	通年	○		
6. ハイブリッド車および低燃費車の購入	営業部門長	4月	×		
廃棄物排出量の削減	<b>一般廃棄物（リサイクルの推進）</b>				
	1. 極力用紙からPDFに変更	各部門長	通年	○	次年度もできるかぎりヤレ紙の削減に取り組む。
	2. プレビュー徹底	各部門長	通年	○	
	3. 情報公開文書は裏紙を使用する	各部門長	通年	○	
	4. メール&ファクスにて通達	各部門長	通年	○	
5. ヤレ紙の削減	各部門長	通年	○		
<b>アルミリサイクルの推進（リサイクル率100%）</b>					
1. 適正な分別	プレス部門担当者	通年	○	よくできた。	
<b>産業廃棄物(廃プラ・廃アルカリ)の削減(維持管理)</b>					
1. 材料発注時に正確な数値で拾い出しをする	各部門長	通年	○	シールの仕事が多くなり、産廃ゴミが多く出るようになった。次年度は有価物の選別を徹底する。 東店3階の整理で多くの廃棄物が出た。	
2. 手戻りを極力抑える	各部門長	通年	○		
3. 支障なき箇所に再利用を行う	各部門長	通年	○		
4. 有価物の選別	各部門長	通年	○		
5. 廃棄物の分別を徹底・再利用に努める	各部門長	通年	○		
<b>水使用量の削減</b>					
<b>水使用量（維持管理）</b>					
1. 節水バルブを80%に調整する	環境管理責任者	通年	○	節水を心掛けたが、東店で使用量が増えている。 原因を調査中。	
2. 節水型便器の情報を収集する	環境管理責任者	通年	○		
<b>製品への環境配慮</b>					
<b>NL規制に適合したインキの使用拡大</b>					
1.NL規制に適合したインキの使用率の把握	プレス部門担当者	(把握) 3月、6月、 9月、12月	○	何年も現状維持のため、経過観察とする。	
2.NL規制に適合したインキの使用	プレス部門担当者	通年	○		
<b>製品歩留りの向上/良品率の向上</b>					
1.歩留まり率の把握	各部門長	(把握) 3月、6月、 9月、12月	○	取組目標がよく実施できた。	
2.歩留まりの向上	各部門長	通年	○		
(1)ミス年間5件以下	各部門長	通年	○		
(2)予備紙を10枚減らす	各部門長	通年	○		
(3)機械の導入の検討・実施	各部門長	2月	○		
<b>化学物質使用量の把握</b>					
1. MSDSの把握	プレス部門	通年	○	年4回の会議を開催し、業者からの製品情報を踏まえ、化学物質の少ない製品の選定・試行・導入 ができた。次年度以降も、同様に化学物質の少ない 製品の選定等に努める。	
2. IPA5%チェック	プレス部門	通年	○		
3. 年4回の会議	プレス部門長	2月、5月 8月、11月	○		
<b>会社周辺の清掃及び社会貢献活動</b>					
1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃 年12回	環境管理責任者	毎月	○	担当責任者の従業員への啓発活動が十分で あったことから、各取組項目が円滑に実施でき 目標の達成につながった。 次年度以降も継続していく。	
2. まちピカ事業 徳島市年2回	環境管理責任者	6月、12月	○		
3. 東町内会清掃 年4回 合計年18回	環境管理責任者	3月、6月、 9月、12月	○		

## 【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無】

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

※この3ヶ月該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	判定
環境基本法	公害の防止と自然環境の適正保全	遵守	○
グリーン購入法	グリーン購入の促進	遵守	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出削減等	遵守	○
徳島県気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出抑制等		
省エネ法	節電	遵守	○
循環型社会形成推進基本法	原材料を適正に使用と処分	遵守	○
廃棄物処理法	再生利用と適正処理	遵守	○
	マニフェストの管理	遵守	○
資源有効利用促進法	再生部品を利用努力	遵守	○
家電リサイクル法	長期間使用と適正なリサイクル	遵守	○
自動車リサイクル法	廃車のリサイクルを図る	遵守	○
浄化槽法	水質保全	遵守	○
騒音規制法	騒音の規制	遵守	○
徳島県生活環境保全条例	騒音の規制の遵守		
振動規制法	振動の規制	遵守	○
悪臭防止法	規制基準の遵守	遵守	○
消防法	火災予防	遵守	○
徳島市火災予防条例			
労働安全衛生法	労働災害防止の対策を推進する	遵守	○
有機溶剤中毒予防規則	有機溶剤から労働者の健康を守る	遵守	○
フロン排出抑制法	オゾン層の保護、フロンの回収義務	遵守	○
小型家電リサイクル法	再資源化を促進する	遵守	○

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

## 【代表者による全体の評価と見直し・指示】

2024年は、物価上昇が続く中で個人消費の回復が期待される年となりました。政府は引き続き「成長と分配の好循環」を目指す方針を示し、雇用・賃金の増加を背景に個人消費の増加基調の維持や企業の積極的な設備投資の促進が求められています。こうした流れの中、全ての変化を成長のチャンスと捉え、グローバルな視点と未来志向で、新たな成長戦略を構築していきましょう。

世界の状況では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化、米中対立の激化、中東における戦闘など、国家間の緊張が引き続き世界経済に影響を及ぼしています。また、日本国内においても記録的な猛暑や台風被害など、異常気象への対応が重要な課題となっています。エネルギーや食糧問題を含む地球規模の課題に対し、迅速かつ協調的な対応が必要です。

印刷業界におきましては、デジタル化やペーパーレス化の進展に伴い、依然として市場の縮小傾向が続いています。しかし、デジタル技術の進化や新たな需要の創出など、業界が抱える課題の中にも多くの成長機会が見出せます。特に、カスタマイズされた印刷サービスやデジタルコンテンツとの連携が今後の展開を左右すると考えられます。具体的には3次元CGを組み合わせた新たなデザイン開発、動画制作、YouTubeチャンネルの展開など、多方面への挑戦が可能でしょう。

徳島印刷センターでは、2025年も積極的な事業展開を進めてまいります。記念誌をターゲットとした営業の新規開拓、パッケージ印刷、ホームページの改善、100年印刷、デジタルブックの作成、AIを活用した写真・イラストの制作を推進してまいります。皆さんとともに、かっこよく、楽しく、そして未来志向で事業を推進し、持続可能な成長を実現していきましょう。

2024年度の各項目における目標達成率は、二酸化炭素排出量の削減109%、電力使用量の削減113%、化学物質使用量の把握100%、地域社会の環境保全への貢献100%と、多くの項目で目標を達成しました。この実績を高く評価し、社員の皆様に感謝申し上げます。お疲れ様でした。

一方で燃料使用量・ガソリン使用量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、NL規制に適合したインキの使用率、歩留まり率については、前年より増加もしくは概ね達成にとどまりました。これらの評価結果を踏まえ、さらなる問題点の洗い出しや、厳格な予防措置を進める必要があります。今回の実績を土台とし、2025年度（活動11年目）においても、環境経営目標項目の追加や重点項目への集中が求められます。創意工夫を重ねることで、さらなる環境負荷の低減が可能と考えています。そのためには、ソフト面の新たな取り組みや地道な努力が不可欠です。

再生エネルギーの導入が無条件に善とされ、化石燃料が悪とされる単純な評価軸や、現実を無視した高すぎる目標設定は、現状の中小企業にとっては大きな負担となりかねません。こうした状況下で私たちができることは何かを常に問い、仮説を立て、計画・実行を進める姿勢が必要です。エコアクション21の活動計画の実践を通じて、自らの行動を振り返り、新たな仕組みや工夫を積極的に見出すことが重要です。組合と共に社会の発展に寄与する努力を重ね、2025年度も引き続き社員一丸となって環境活動に取り組んでいきましょう。

2024年10月1日

多田 哲也

【環境経営方針】 変更の必要性： 有 無

現時点での見直しの必要はない。

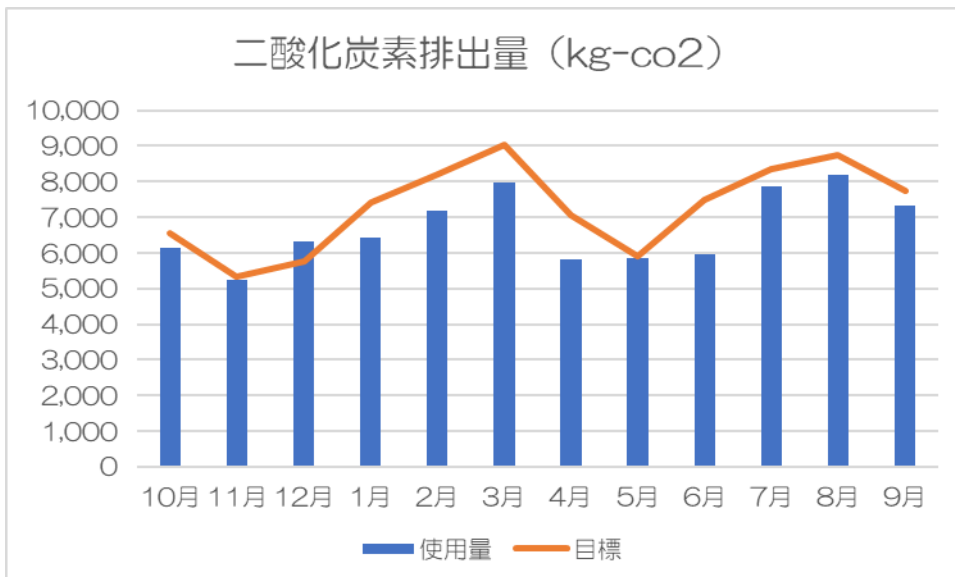
【環境経営目標、環境経営計画】 変更の必要性： 有 無

現時点での見直しの必要はない。

【実施体制】 変更の必要性： 有 無

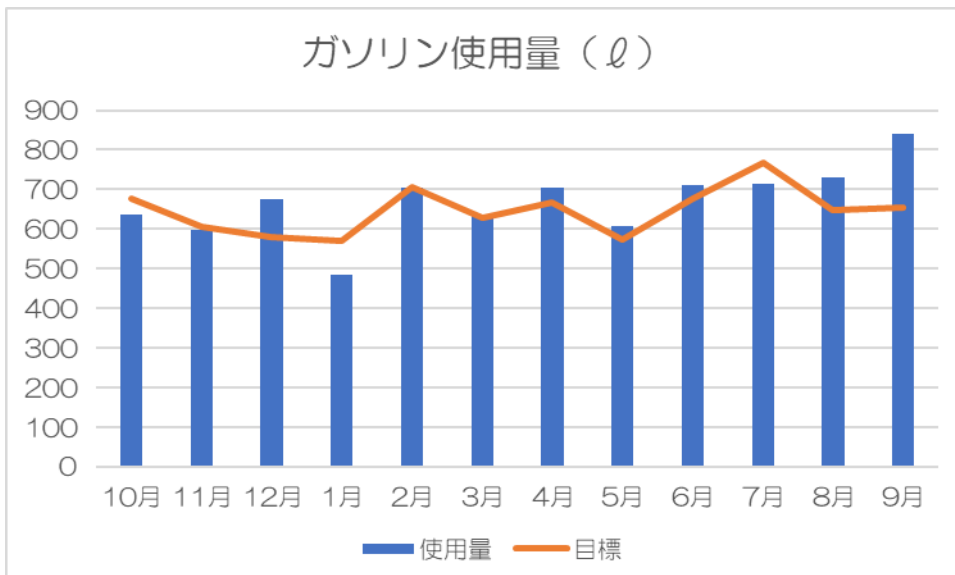
## 【2024年度 月別二酸化炭素排出量（本社・東店）】

目標達成率 109%

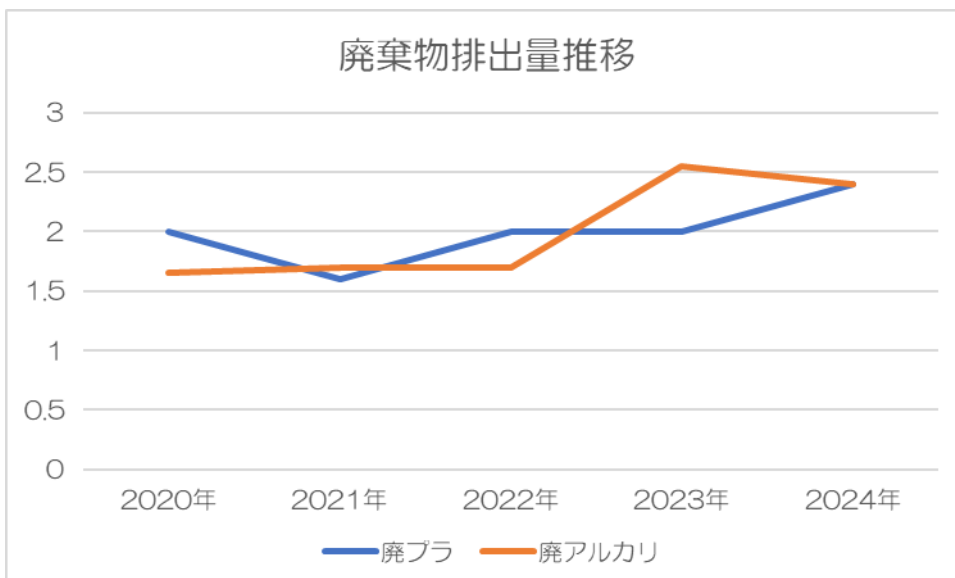


## 【2024年度 月別ガソリン使用量】

目標達成 96%

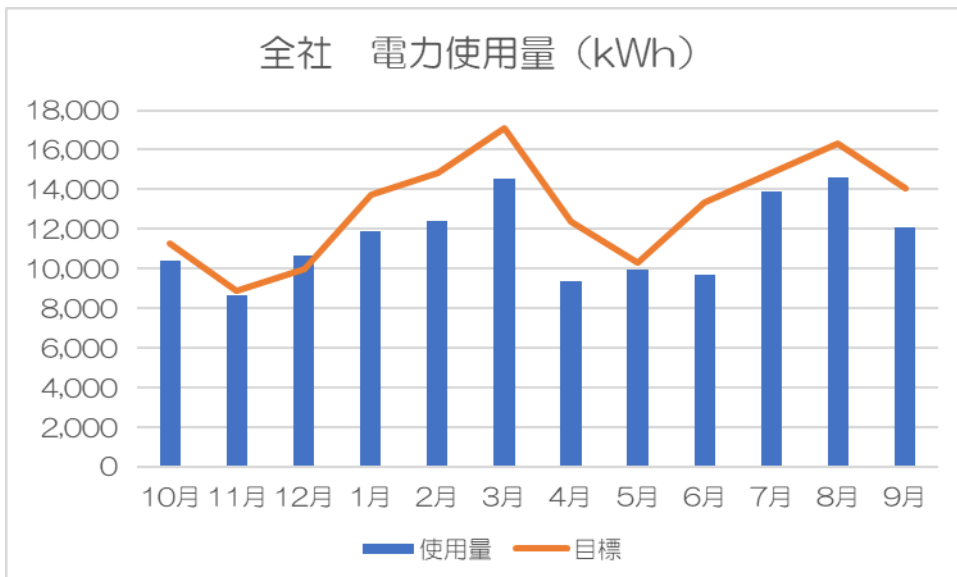


## 【廃棄物排出量推移 2020年～2024年】

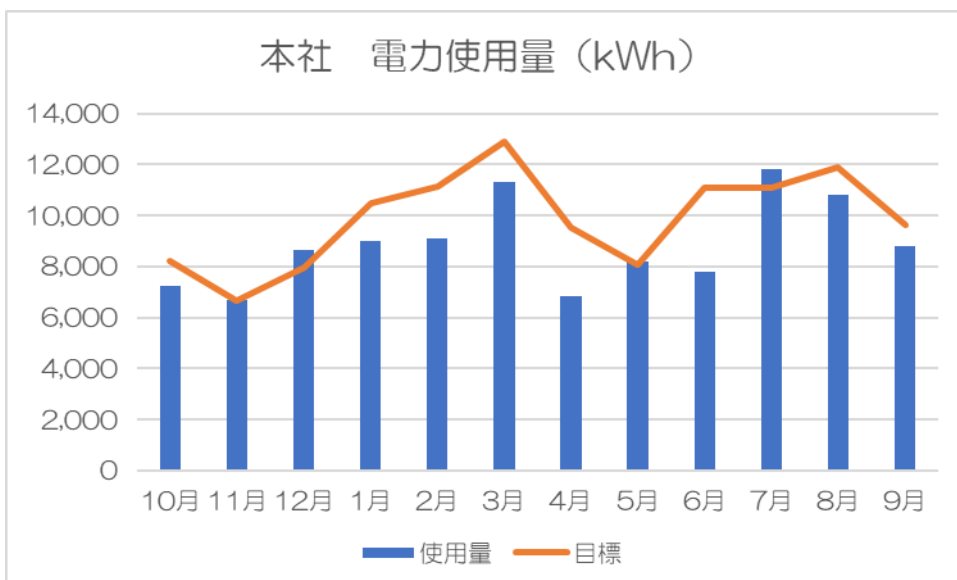


# 【2024年度 月別電力使用量（本社・東店）】

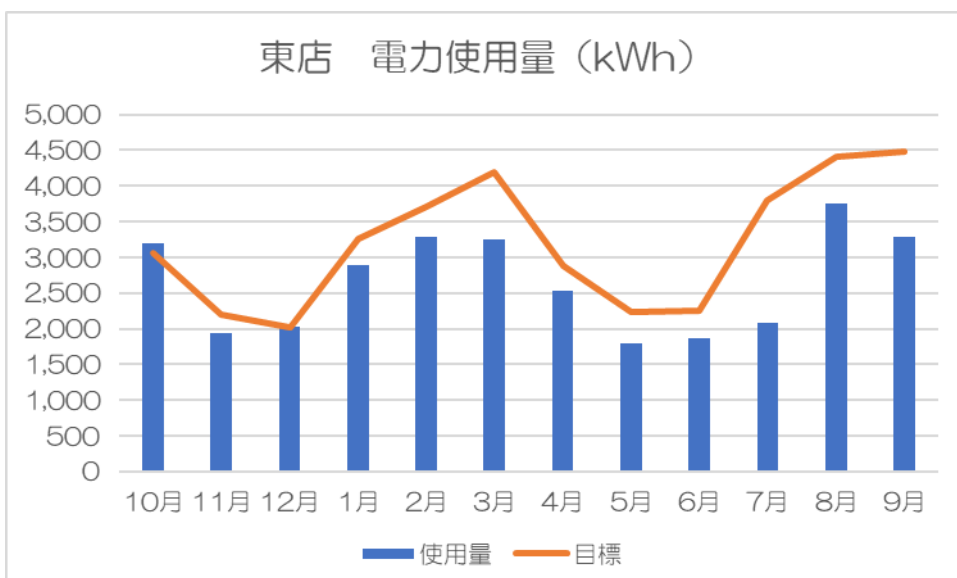
目標達成率 113%



## 部門別（本社）

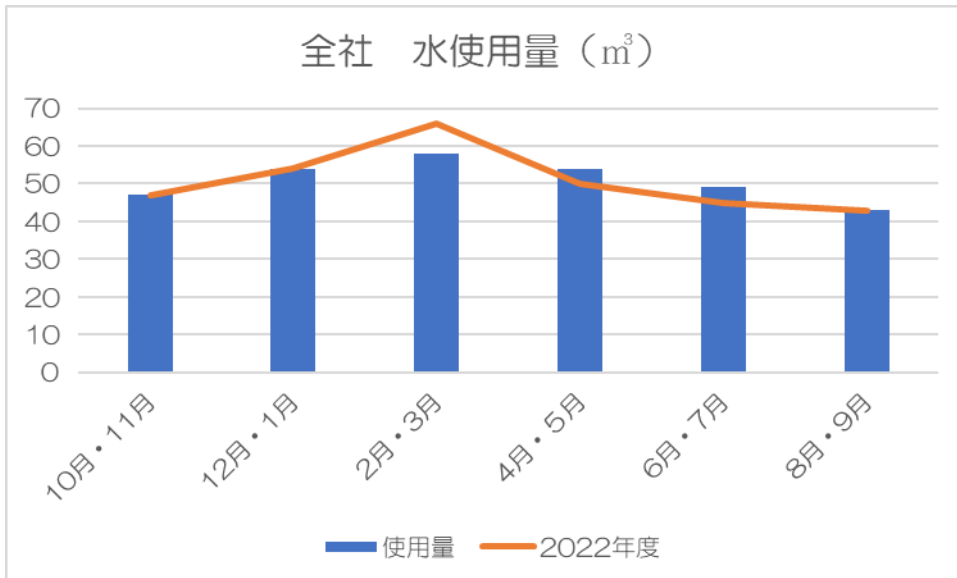


## 部門別（東店）

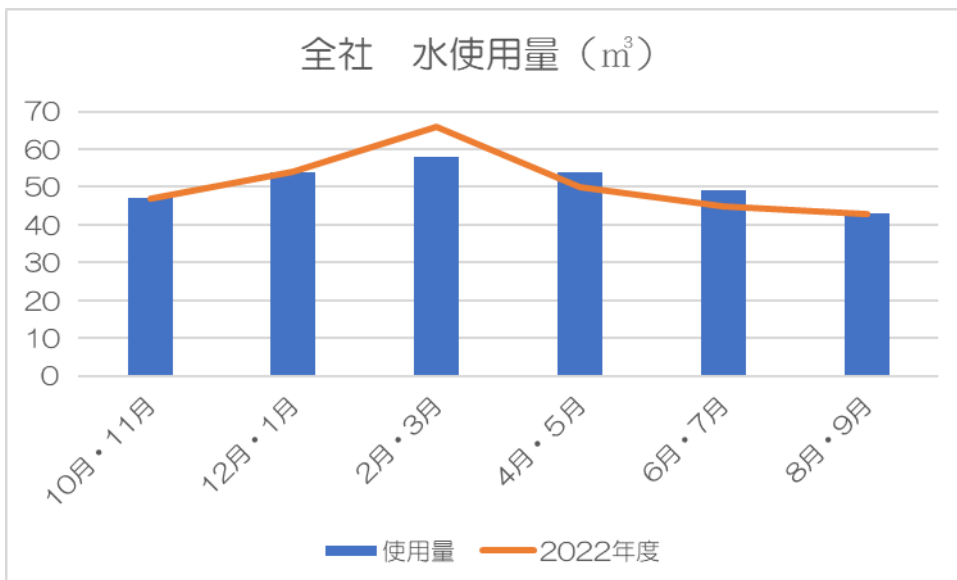


# 【2024年度 月別水使用量（本社・東店）】

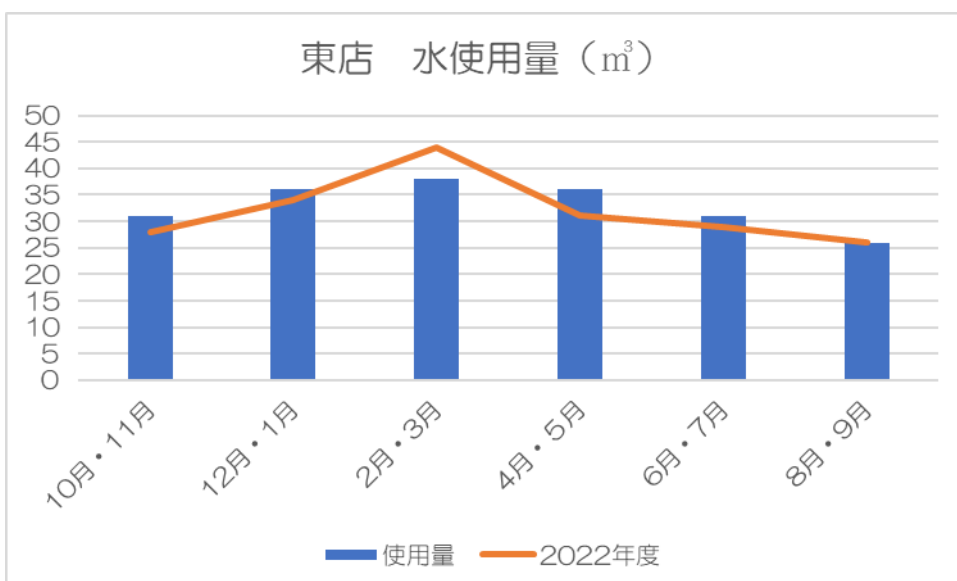
目標達成率 100%



## 部門別（本社）



## 部門別（東店）



## (協業組合) 徳島印刷センター

エコアクション21担当 野田

〒770-8056

徳島市問屋町165 (繊維卸団地内)

電話088-625-0135



### 交通手段・交通経路

徳島駅～二軒屋駅下車  
(2駅目)

徒歩15分  
タクシー5分

徳島阿波おどり空港バス (徳島駅) ～ (二軒屋駅)  
(2駅目) 下車

徒歩15分  
タクシー5分